

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団運営事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	02	01	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市消防団	意図	消防団の士気の高揚と安全確保のため各種研修等を行い、より迅速で的確な活動体制を維持する
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員報酬支払事務 研修参加事務 制服等被服購入 公務災害補償事務 退職報償金請求事務 			
事業開始から現在までの状況変化	昭和26年に流山市消防団が発足、最近では消防団員の定員割れが顕著となっているが、待遇改善や研修等を充実させて消防団員の確保を図っていく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	各種会議、研修等の参加人員	71	73	84	人	→→	
	②	消防団員年額報酬総額	11,351	13,107	13,259	千円	→→	
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 消防団員の数は全国的に年々減少しているが、当市は横ばいに収まっている。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		32,677,757	34,555,043	34,545,900				
事業費(b)(円)		27,840,757	29,284,043	29,740,400				
うち一般財源		27,840,757	29,284,043	29,740,400				
職員給与費(c)(円)		4,837,000	5,271,000	4,805,500				
人役・職員(人)		0.70	0.70	0.70				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	消防団員の研修を充実させる。	③取組の課題	消防団員の確保。
②今年度(H28)に実施した取組	駅前でのPR活動 入団促進イベントの実施	④今後の改善計画	消防団入団勧誘のためのPR。